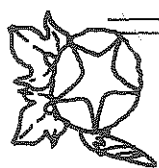


お茶会だより 7月号

矢島保青園 R(7.31)(水)

今月おらつどの公園にある総合案内所に場所を移してのお稽古になります。どんな所だろう?と期待を膨らませ、わくわくで園を出発した子どもたち...



床の間

- ・掛け軸 ~ 滝の絵
- ・お花 ~ イトスキ・タイツソウ
フウセンカズラ
- ・香合 ~ うらわ
- ・お菓子 ~ 練切 (朝顔)

2ヵ月ぶりのお茶のお稽古。そして和室というにもあまりいつもと違う雰囲気・場所にウキウキ・ソワソワして、作法や挨拶を忘れてしまったり...と様子が見られました。しかし、お床拜見での植田先生のお話には、しっかり耳を傾け聞いて、滝の掛け軸や香合も興味を持って見入る姿が見られました。



挨拶、正しい姿勢や座り方はお茶会だけでなく、日々の生活の中でも大切な事ですので意識しなければなりません。しっかり身に付けていくように頑張りたいと思います。

* 白くつ下は朝日に園に持ってきて下さるようお願いいたします。

【今月の床の間】



《掛け軸》「直下三千丈(滝の絵)」

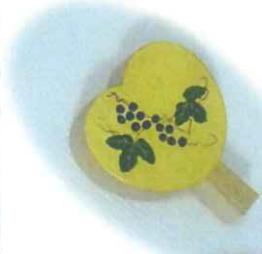
《茶花》「イトススキ・タイマツソウ・フウセンカズラ」



少しでも涼しさを感じられるようにと、植田先生が選んでくださった、滝壺に真っ直ぐ流れ落ちる「滝」の掛け軸。「子ども達、わかってくれるかしら」と心配されていましたが、子ども達は「あ、滝だ!」と、すぐにわかってくれました。

香合「うちわ」

滝の絵の下に置かれた香合は、うちわの形。ぶどうが更に夏らしさをかもし出しています。



《茶菓子》「アサガオ」

可愛らしいピンクのアサガオでしたが、子ども達は「星?桜?」と、ちょっと悩んでいました



【お稽古の様子】

今月から鳥海山麓地区総合案内所の和室を借りてのお稽古。いつもと違う場所に子ども達もちよっとそわそわ。



2ヶ月ぶりのお茶の稽古でしたが、難しい箸の扱い方も考えながら丁寧に行っていました。



箸は上から取って…。

左手に乗せて持ち替えて…。



楊枝もちよっと難しい…。

お茶碗の扱い方や出す位置など、本当の和室での動き方に戸惑いつつも、「楽しかった」

と次のお稽古を心待ちにしていました。

